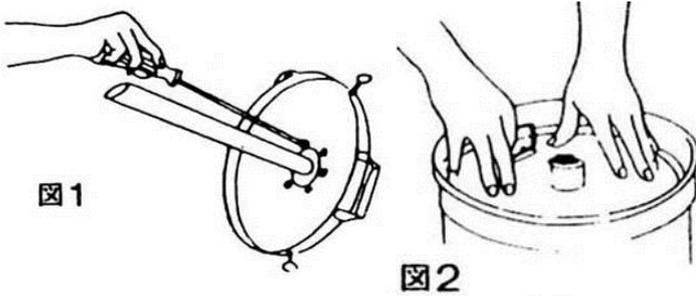


EA991CG-5

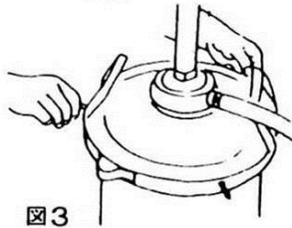
- 当商品は比較的、沢山のグリースを使用されるメンテナンス用に設計されています。市販されている16kgペール缶が直接セットでき、No.1グリースまで使用できます。

組立て方法

- ①ポンプをリドベースに取り付けて下さい。
- ②16kg缶のフタを開け、フォロワーディスク(ボスを上にして)を押し込んで下さい。ボス穴から少しグリースが出る位にして下さい。



- ③ボス穴にポンプチューブを差込み、缶にしっかりと固定してネジ3本で強く締めてください。

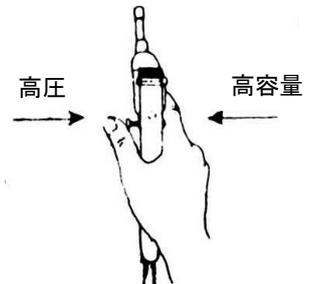


- ④次にポンプハンドルを数回押し上げて下さい。ホースにグリースが通れば完了です。最後にハンドルを下まで下げておいて下さい。
- ⑤今度はガンレバーを握ってください。エアが抜けます。更にレバーを握るとガン先端のカプラーからグリースがでできます。

【注】これで準備完了ですが、ガンからグリースが出てこない場合は、4のポンピング不足です。

使用方法

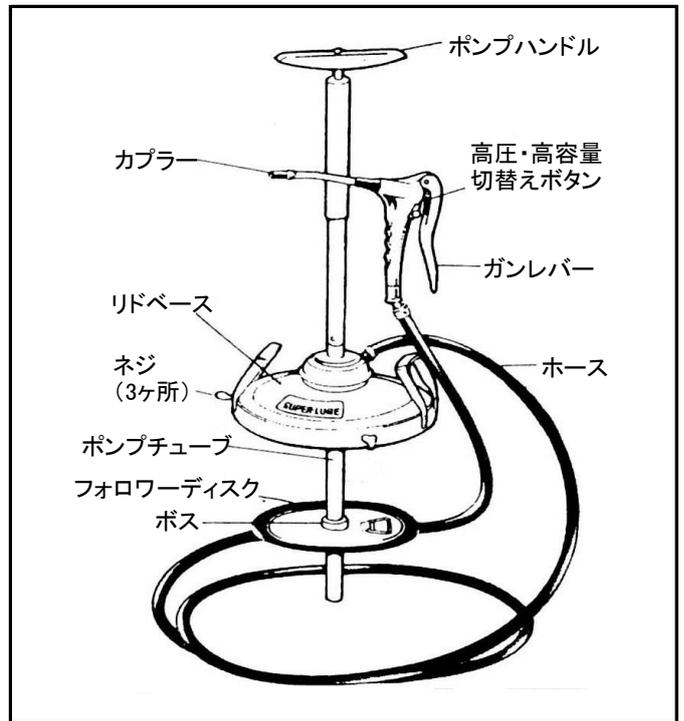
ガンレバーを握ってグリースアップしますと、ポンプハンドルが除々に上がってきます。1回のポンピング(ハンドルを下まで下げる)で、約60回、ガンレバー操作によるグリースアップができます。ガンは高圧・高容量の切換えができます。通常は高容量でご使用ください。なお、ニップルの内圧が高い場合は、高圧に切換えてください。吐出量は若干、少なくなります。がらくにグリースアップができます。



ペール缶の交換

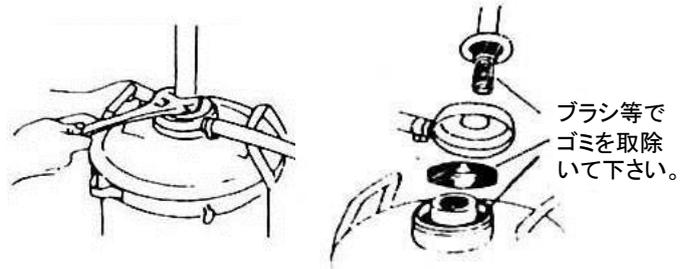
- ①3本のネジをゆるめてください。
- ②スーパーリューブを缶からはずしてください。
- ③組立て方法2～4に従い、新しい缶をセットしてください。

【注】缶の底にフォロワーディスクを残し忘れない様にしてください。また、空になった缶にグリースを詰めて使用する場合は、グリースの中にエアが入らない様、数回平らな所に軽く缶を落としてください。



ストレーナーの掃除

ストレーナーの掃除をする時は、下のサービスノートC(B)を参照して下さい。適当なスパナでスプリングチューブの根元のナットをゆるめてください。その時にスプリングに圧力が、かからない様にポンプハンドルを上まで上げておいてください。

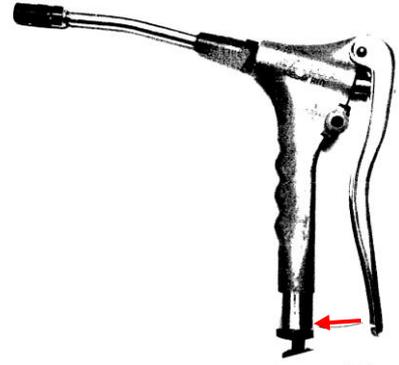


サービスノート

状 況	原 因	対 応
A. ガンを使用していない時にハンドルが上ってくる	<ul style="list-style-type: none"> ①ボールとピストンの間にゴミが詰まっている。 ②O-リングが不良 	<ul style="list-style-type: none"> ①クランプナットをはずし、ボールとピストンをよく掃除してください。 ②O-リングの交換
B. ハンドルは上っているがガンからグリースがでない	<ul style="list-style-type: none"> ①エアロック ②缶がへこんでいてフォロワーディスクが入らない。 ③フォロワーのO-リングの不良 ④グリースが無くなっている ⑤フットバルブが不良 	<ul style="list-style-type: none"> ① ②缶のへこみを元に戻るかフォロワーディスクを手で下げる。 ③O-リングの交換 ④ペール缶の交換 ⑤フットバルブの交換
C. ハンドルが下がったままでガンからグリースが出ない	<ul style="list-style-type: none"> ①グリース粘度が固すぎる ②ストレーナーが詰まっている 	<ul style="list-style-type: none"> ①No.0又は、No.1グリースに変える ②クランプナットをゆるめストレーナーカバーをはずしてストレーナーの掃除又は交換
D. クランプナットの上でグリースが漏れる	<ul style="list-style-type: none"> ①O-リングの不良 	<ul style="list-style-type: none"> ①クランプナットをゆるめ、ハンドルを取り必ずスプリングカバーを手で抑えながらナットをゆるめてください。スプリングカバーを取れば、スプリングガイド、スプリング、スプリングカバー、および、ピストンロッドが外れますからワッシャー・O-リング類を交換してください。
E. ストレーナーカバーの下からグリースが漏れる	<ul style="list-style-type: none"> ①O-リングの不良 	<ul style="list-style-type: none"> ①クランプナットをゆるめれば、ストレーナーカバーが外れますからO-リングを交換してください
F. クランプナットの下でグリースが漏れる	<ul style="list-style-type: none"> ①クランプナットの下が汚れている ②シールの不良 	<ul style="list-style-type: none"> ①きれいに拭う ②シールを交換する

(グリースガン)

最高吐出圧力
700kg/cm²

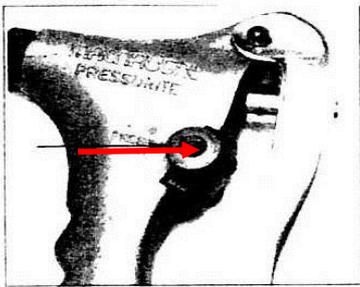


◎ご使用前に必ずエア抜きをしてください。

エア抜きの方法

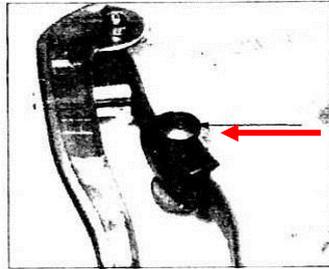
- ① 数回ポンピングして、グリースをガンの方に送り込んでください。
- ② ガンレバーを右図のように数回にぎるとエアを抜くことができます。もし不十分なときは、1～2の作業を繰り返してください。

高圧にセットする場合



圧の強いニップルにグリースアップする時にご利用ください。レバーは軽く作動します。

高容量にセットする場合



オープンペアリングなど、圧が低くグリースを多く必要とする所にグリースアップする時に便利です。

サービスノート

	故障状態	原因	対策
A	カプラーからグリースが漏れる。	<p>(a) 出口ボール座の下にごみがつまっている。 (注:カプラー自体は良好である。)</p> <p>(b) 止めねじがゆるんでおり、その為出口ボールが座から外れている。</p>	<p>(a) 高容量に切換えハンドルを急激に強く押す。それでも濡れ場合は、エクステンション・チューブ、止めネジ、ばね、およびボール、バネを元通りに置いて、止めねじがバネにふれるまで(これは振ってみて、ボールがカカタという音がするかどうかで調べる。)締めつける あまり多く回しすぎるとバネが強くなりすぎガン動作が鈍くなり、回し方が少ないとカプラーはまた漏れるようになる。それでも漏れが止まらない時は出口ボデー・アッセンブリーを交換。</p> <p>出口本体を交換する時は念のためガンハンドルを締めた状態で行う。これにより座金ろOリングはピストンにきちんと入れることができる。</p> <p>(b) ハンドルピンを取りハンドルをはずす。そしてピストンはずし、止めねじを固く締め直す。</p>

	故障状態	原因	対策
B	高圧作動不良	<p>(a)ピストンボールの下にゴミが詰っているか、またはピストン内部のボール座が破損している。</p> <p>(b)止めねじがゆるんでいるか、ピストンからはずれている。</p>	<p>(a)高容量に切替え、ハンドルを強く押してゴミを座から取除く。それでもなお、漏れがあるときは、ハンドルピンを取り、ハンドルをはずす。ばねとボールをキレイにする。</p> <p>(b)Aの(b)参照</p>
C	高容量作動不良	<p>(a)入口ボール座の下にゴミが詰っている。 (注:これによって送られる量が減り、一方圧力は増加する)</p> <p>(b)プランジャーコントロールがコントロールボディにはまり込んでいる。</p>	<p>(a)コントロールボディを取り外し、弁座リング、ボール、及びバネをはずす。ボールを弁座をきれいにし、ばね、ボールリング、弁座、リング、及び座金の順に元通りにする。</p> <p>(b)コントロールアッセンブリーを交換。</p>
D	高容量側がグリースの出が悪く作動困難	<p>(a)グリースのグレードが濃すぎる。</p> <p>(b)バネの調整が不十分である</p>	<p>(a)グリースの調度を下げる (例えば#1→#0)</p> <p>(b)エクステンションチューブを出口本体からはずし、出口止めねじを左まわりに半回転まわす。ポンプを押し、最高圧で(ガンのボタンコントロールは高圧にし)出口本体の漏れを調べる。</p>